

とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会
県議会広報紙…年4回発行
令和2年2月1日発行

主な記事 Contents

代表質問 ……………	2p
一般質問 ……………	3~7p
平成30年度決算認定 …	8p
常任委員会活動 ……	9p
議決結果 ……………	10~11p
国際交流・海外調査、お知らせ …	12p

No.031

Nov.
11月
議会

JWBF/X-1

上：(座位)砲丸投げ 森 卓也選手 下：車いすバスケットボール 立岡 ほたる選手

11月定例会の概要

11月定例会は11月28日、平井知事から総額10億5千万円余の令和元年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)や鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例の制定など15議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党が行い、一般質問には29名の議員が登場。県政の幅広い諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、教育委員会委員と収用委員会委員の人事案件2議案が追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、

9月定例会から継続審査となっていた2議案を含む19議案すべてを原案どおり可決、認定、同意した。

なお、鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例について、科学的知見を持つ委員が公平・中立に調査を行うこと、調査会の内容が県民に伝わるようにすること、調査が客観的、学術的に行われるよう公開手法も含め環境を整えることなどの意見を付した。

陳情については、桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出についての陳情など3件をいずれも不採択と決し、12月20日に23日間の会期を閉じた。

表紙の写真

もり たくや
森 卓也 選手
(米子市出身)

(座位)砲丸投げ・円盤投げ日本記録保持者
2018アジアパラ競技大会 陸上日本代表砲丸投げ5位入賞

たつおか
立岡ほたる 選手
(倉吉市出身)

鳥取県車いすバスケットボール協会所属
2019女子U25車いすバスケットボール世界選手権 日本代表

代表質問

鳥取県議会自由民主党



選挙区 米子市
野坂 道明 議員

総合戦略等の見直し

問 バックキャストイング(※1)の政策立案を行うことが不可欠。目標を定量的、定性的に設定することが重要なポイントではないか。

答 今の制約の中で未来の理想像に近づけていくことを考えると違った手法が色々取れると思う。そうした視点をしっかりと入れた目標を作っていく。ワンチームで、小さくて強いところを目指し、ハンディキャップを我々の得意技としてやっていく。

災害対策と県土の強靱化

問 ハザードマップの浸水想定を考慮しながら、堤防の強化や河道確保等の河川整備について、重点的な予算配分が必要ではないか。

答 一定のハード対策は効果があり、ある程度前倒しで進めていく必要がある。

ある。ソフト対策と組み合わせながら取り組んでいく。

問 現在、信号機の停電対応措置は、地震対策として行われているが、あらかじめ必要箇所数を把握し、風水害も考慮した整備計画を立てる必要があるのではないか。

答 (警察本部長) 次期計画策定の際には、風水害を含むあらゆる災害を想定して、計画的に整備を進めていく。

問 ペットと同居できる避難所や一時保護的なシェルターを検討する必要があるのではないか。

答 獣医師会とも協力体制を協議して協定を結び、受入体制や救出等を含めて対応を考えていく。

先端技術導入の促進

問 横串を刺して情報共有やモデル事業に取り組むため、庁内に検討会議を設けてはどうか。

答 Society5.0(※2)を推進する検討会議をつくり、有識者も入れてプランづくりを進めていく。

農林水産業の振興

問 本県の畜産業を守る獣医師の人

材不足は深刻。特に若年層の確保に取り組む必要があるのでは。

答 社会人の再就職として、公務員獣医師を積極的に開拓することも考えられる。新年度にマッチングを積極的に進めていく。

パラスポーツの振興

問 パラ国体などの誘致には宿泊施設がネックとなる。県として環境整備を誘導してはどうか。

答 いずれやっていく障がい者スポーツ大会もにらみながら、ホテル・旅館の障がい者対応を進める。

県内企業の働き方改革

問 労働者不足の問題がある建設業の働き方改革をどのように実行していくのか。また、連休やお盆休み前の発注に対する不満の声がある。工期設定を改善すべきでは。

答 週休二日工事の浸透を促進するとともに、関係者の声をよく聞きながら制度の改善を図る。年末年始やお盆休み等にわたる発注にならないように、時期を調整する。

命を大切に教育の実践

問 命に関わる教育をより効果的に行う必要があるのではないか。

答 (教育長) 命の大切さを心から実

感じ、現実の行動に反映できるように、家庭や地域等と連携した学びの環境づくりに努める。

児童虐待対策

問 通告義務など対処のルールを徹底するため、学校現場の実態を確認した上でマニュアルを策定する必要があるのではないか。

答 (教育長) できるだけ学校が判断に迷わないよう、マニュアルの中できちんと示していきたい。

地域包括ケアシステム

問 後期高齢人口の増大に伴い、病院の機能は高度急性期等からリハビリ向けの回復期や慢性期に移行させる必要性が高まるのでは。

答 地域医療構想の調整会議等で具体的に議論することになるが、病床転換が一つのテーマである。

県民の健康増進

問 フレイル(※3)対策は行政による事業ではなく、民間の知見によるSIB方式(※4)を活用してはどうか。

答 米子での取り組みに注目。展開を加速させる意味でこうした手法が可能かどうか積極的に検証する。

※1 バックキャストイング：未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想 ※2 Society5.0：第5期科学技術基本計画において提唱された我が国が目指すべき未来社会の姿 ※3 フレイル：健康な状態と要介護状態の中間の状態をさす ※4 SIB方式：官民連携の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して行う手法

一般質問

11月定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコード決済について



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①上海便就航に向けてアリペイ・ウィーチャットペイ(※2)対応店舗を増やし、ポスターやポップ広告等で中国人観光客に認知してもらう体制整備が急務では②QRコードの早期規格統一を国へ要望してほしい③キャッシュレス推進協議会へ参加を。

答 ①9月の補正予算の誘客倍増プランで支援措置をとった。さらにポップ広告も含めて応援させて頂きたい②規格統一の要請活動を国、政府側にもやっていきたい③年明けにも協議会へ加盟させて頂きたい。

インフラと国土強靱化、クマ対策、人材育成



山口 雅志 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①災害改良復旧について②鳥取港整備について③クマ対策について④中学校の形式卒業問題について。

答 ①国に要件緩和、河川・農業施設連携対策を要望する②国の直轄工事として検討いただけるよう要望している。地域の需要を取り入れ鳥取港港湾計画を見直す③市町村連携強化、保護個体数見直し、周辺他県連携強化等クマ特化対策を進める④(教育長)子どもを中心に置き、様々なニーズをとらえ夜間学校をどうすべきか検討を進める。

健康づくりで幸齢社会 再生可能エネルギー



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①健康寿命を延ばし、高齢者が幸せに年を重ねる幸齢社会に②「とりっぼ」の推進③全町内会、集落で健康マイレージ、健康づくりの事業等を④アレルギー拠点病院設置を⑤再生可能Eの普及啓発の取組は。

答 ①健康づくり文化として定着させ幸齢社会を目指す②ウォーキングアプリは、当初予算に向け検討始めた③市町村ともよく協議し展開を強める④年明けに選定し、1病院でも認定に⑤RE100(※1)のアンバサダーとして県も宣言する。

鳥取県の漁業振興について



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 2018 漁業センサスが発表された。全国で漁業従事者の減少は一段と進んでいる。その中で鳥取県の漁業従事者数は特に20～29歳の年齢構成比で全国平均より4.5ポイント高くなっている。鳥取県の漁業担い手育成事業の現状と漁業就業希望者が使いやすい制度への見直しについて伺う。

答 鳥取県では漁船のリース事業などの政策により若い就業者が増えている。独立型研修についても3親等以内の親族も対象とするよう制度の見直しを早急に検討する。

ふるさと新時代づくりへの予算編成方針は？



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 Society5.0時代を迎え、ふるさと新時代の実現に向けて新年度予算編成についてどのように取り組んでいくのか。

答 ふるさと新時代実現のために、本県の得意分野である福祉領域へのSociety5.0の導入など安心をテーマに切り込むとともに、人口最少、開発遅れなど本県のハンディと捉えて、市町村などと協働しながら、ふるさとの新しい時代を導く地方創生の戦略を取りまとめ、新年度予算に反映する。

①芝生王国について ②社協について



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①県産芝が新国立競技場に導入された。日本一の品質を誇る鳥取県の芝生を大きな魅力として発信しては？②社協は地域福祉の実現を目指す組織である。しかし、運営は厳しくなっている。財源措置を国へ要望するべきではないか？

答 ①芝生生産の応援を県としても果たしていきたい。日本を代表する芝としてシンボリックに県産産として推奨する②地域福祉の財源措置、財政基盤の確立について政府にも働きかける。

※1 RE100：使用する電力の100%を再生可能エネルギーで調達すること
※2 アリペイ、ウィーチャットペイ：中国の主要なモバイル決済サービス

一般質問

- ①外国人サイクリスト対応
②製材業支援策



松田 正 議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

問 ロードバイクのレンタルなど、受け入れ体制の整備を行う市町村に対し購入助成などの支援ができないか。

答 県内にロードバイクのレンタル店はない。検討する市町村があれば応分の協力はさせていただきたい。

問 県産木材の競争力を高めるためには乾燥が必須。日数がかかる天然乾燥を行う場合の経費支援ができないか。

答 無利子融資のような形での営業支援を検討させていただきたい。

- ①ロシア交流 ②高規格道路
③共生社会の実現に向けて



安田 由毅 議員

選挙区 境港市
会 派 自由民主党

問 ①民間交流の観点から DBS 運航再開に向けた所見②米子境港間高規格道路実現に向け国を動かすのは地元の意思統一。汗をかいていただきたい③ (a) 車椅子タイヤ洗浄機導入を (b) 官民間わず折り畳み式スロープの設置、購入補助制度を。

答 ①交流を継続発展し DBS 運航再開を目指していく②事務手続きを速やかに。高まってきた気運を生かしていく③ (a) 計画中の布勢の施設に設置検討する (b) 有効である。既存制度の周知活動、必要なら予算拡充する。

- ①リユース食器
②ゲーム依存症 ③SNS 対策



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属

問 ①リユース食器(※)を福祉作業所が担えばプラゴミゼロと工賃UP両面で効果。啓発を②中高生7人に1人がゲーム依存の疑い。先駆的な国立久里浜医療センターの調査研究を③ SNS 絡みの事件の抑止を。

答 ①リユース食器の基盤整備という支援もあり得る②久里浜での人材育成、研修参加など関係機関にも促す③逆に SNS を活用した注意喚起の広報なども検討する。(教育長) 犯罪を疑似体験できるアプリを活用した学びも検討。

- 台風19号災害を受けて
の防災対策



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会 派 会派民主

問 多数の河川で、越水により堤防が決壊した。河川整備や避難対策、事業継続 (BCP)、病院機能の確保にどう取り組むか。

答 堤防の天端や河川裏側法面の補強などを重点的にやり、必要な河川整備について国に要望する。広域避難は3大河川の流域ごとで検討する。災害弱者対策は、福祉避難所の環境整備に努め、利用施設の避難計画作成を支援する。商工団体と協定し、被災した企業のバックアップ体制をつくる。病院のBCP作成を進め、広域で医療対応する。

- ①防災公園・避難対策
②健康づくり文化創造



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会 派 会派民主

問 ①洪水避難で、米子市観音寺・長砂町「桜の里」・東山町一帯の山など、県下の保安林の山を防災公園のような観点で有効活用できないか②県は地域の保健師・栄養士・食生活改善推進員の薄味奨励活動や民間ともしっかりコミットし、牽引推進してはどうか。

答 ①人口集積地域で何ができるか、県の立場であるが防災避難対策検討会で検討を深めて参りたい②現場と改めて意見交換し、予算や計画に反映しつつ、「食」の切り口を広げ原点に立ち返りタグを組んで進めたい。

- 理屈が通らない処分
白紙撤回すべきでは



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会 派 会派民主

問 8月21日、県が事務局を務め、県と関わりの深い畜産の外郭団体で、人工授精師に対して県有種雄牛凍結精液の譲渡停止6ヶ月の処分決定と処分内容の公表が行われたが、理屈が通らない処分で、白紙撤回すべきでないか。

答 一通りお伺いし、憤りはある意味共有できる。授精師の責任を問えないところではないかとも思える。詳細について十分把握しているわけではないので、事実関係を精査し、速やかに対応したい。

※ リユース食器：主にイベントなどで使用される再利用可能な食器

一般質問

県内中小企業支援策について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 鳥取県の産業構造を考えたときに、県内中小企業で売上高100億円を超える企業を育成するために、県としても必要な支援策の構築が求められている。県として、何かできることはないか所見を伺う。

答 事業者がプレゼンテーションをやり、ファンドや銀行との交流やマッチングを兼ねたような、投資家と向き合うというような場も確かに必要かもしれませんので、そうした場の検討をさせていただきたい。

農林水産業の振興と政策について



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

問 ①担い手農業経営者が新制度でも再申請、機械設備の再取得が可能になる支援を②水稲生産に関連する必要な施設の国事業で対応できない部分を県で補完する体制づくりの考えを問う ③国の8割交付税措置が決定し県養豚場への防護柵設置補助・助成の割合を再考できないか。

答 ①当初予算編成に向け関係機関と相談する②県内JAと県で米作関連施設の再編等についての研究会を開いていく③関係事業者の状況も確認し、制度の立て方等も検討をさせていただく。

公立公的病院、淀江産廃、災害対策、奨学金



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①公立病院再編統合リスト撤回②不採算地域医療交付税総額の継続③境港済生会病院改修費支援④水源地に汚水が流れる危険性を指摘する吉谷先生を淀江産廃地下水調査委員に。知見の紹介を⑤千代川決壊を想定した確実な住民避難の検討⑥段ボールベット等連携備蓄品到着時間の短縮⑦運輸業を奨学金返済助成する未来人材基金の対象に。

答 ①撤回すべき②充実を要望③必要に応じ検討④委員は対象外。知見は幅広く収集⑤取り組む⑥確認する⑦話があれば対応。

政治で一番大切な事は儲ける事？幸せ度増？



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

問 産廃の反対・賛成に拘らず、地下水等が安全かどうか重要。そこで知事に具体的に提言する。H25 事業者作成の生活環境影響評価書に産廃「計画地の地下水は北北東に流れる」と結論した」と記載がある。多くの県民は北北東に位置する水源地向の影響を懸念する。H26 地下水流向調査の調査範囲は狭く水源地向は含まれない。三輪山の清水・福井水源地向を含む広域的な調査の実施を求める。見解を問う。

答 水源地向を含める事は、当然入ると思う。調査会に伝える。

鳥取よいとこ運動・小学校英語・駅前活性化



尾崎 薫 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 ①若者が鳥取に定着する対策が要る。子育て制度、自然、治安が良い、人と地域の繋がりが、小ささが武器など鳥取には沢山良い点がある。知事と親・大人が共有し発信する運動を②各校に外国語専任教員配置を③大丸駅前計画にイベント支援も必要。

答 ①行動を起こし少子高齢化の状況に変化を呼び起こす運動につながるよう考えてみる②(教育長)国では一部教科担任制の議論もあり、定数改善も含め要望していく③ソフトで盛り上げることも考える。

児童精神科について 児童相談所について



坂野経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 児童精神科①受診まで最低1か月待たねばならない現状への対応②島根県にあって鳥取県に無い県立児童精神科病棟の必要性③自死願望等、緊急入院が必要な子どもへの対応が不十分。

答 ①町医者と役割分担をする等、対応を協議②入院できる環境についても関係者と協議③精神保健法により、措置入院や緊急保護入院という仕組みがある。

問 虐待のあった家庭へは、児童相談所のフォローだけではなく、社会全体で支えてはどうか。

答 体制強化をしっかりとやる。

一般質問

消防防災航空隊防災ヘリの夜間運航体制



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 運航規定・運航要領においては、平成12年10月の西部地震の教訓を生かし、夜間の大規模災害に対応するとなっている夜間の緊急運航に対する体制はどうなっているのか。

答 夜間の緊急運航については、西部地震の教訓も踏まえて、市街地、海岸線等、有視界飛行で緊急運航としているが、防災ヘリが万が一、木に接触すれば重大事故につながる。現在、隊員の安全性を考え夜間の緊急運航は行っていない。

介護職員等特定処遇改善加算の取得取組推進



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 介護職員の職場の環境改善、賃金の改善、離職ゼロを推進する為に、介護職員等特定処遇改善加算取得推進に取り組むべきと考える。県内の特定加算の取得状況は、対象事業所の48.2%である。加算取得推進への取り組みについて知事に問う。

答 このたびの特定処遇の加算については、きちんと普及すれば、更に処遇改善に繋がるところが出てくる。貴重な財源を、施設のほうでも活用できるように、説明会、個別の訪問をすることで一層の普及を推進したい。

本県の環境政策と子ども食堂へ支援の継続を



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①鳥取県環境基本計画が策定後20年経過した。この間の県の取り組み成果は②県内の一般廃棄物排出量は全国的に見ても多い。排出量削減の県の取り組みは③子ども食堂の実態調査と来年度以降の支援策の検討は。

答 ①レジ袋廃止、自然エネルギー活用の増加、廃棄物リサイクル率アップなど様々な成果があった②事業所からの排出が課題。食品ロス削減に業界団体等とマッチングできるシステムを進めていく③運営実態を把握し、市町村と相談しながら応援していく。

災害時の工事請負、沿岸漁業、今後の造林



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 現在、入札不調が多いが、災害工事に関して受注減点を見直すべき。サメ被害に困っている沿岸漁業対策と令和2年以降の稚貝放流支援。皆伐再造林に向けた高率の植栽経費対象樹種を拡大すべき。

答 災害復旧工事のやり方は違って良いかも。業者の意見も聞いて検討する。サメ対策は、漁協と相談して支援を考える。稚貝放流支援は、令和2年の予算の中で相談させていただく。林業関係者の意見を伺い制度の改善を検討していく。

全ての子どもの学習権を保障するために



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

問 障がいのある子もいない子もすべての子どもと一緒に学ぶ大阪市立大空小学校のような「みんなの学校」をつくるために、県教委がすべきことは何か、現場に対してどのような支援が考えられるか。

答 (教育長) 共生社会に向けたインクルーシブ教育について、教職員、保護者、県民へと共通理解を広げるやり方が適当。また学校の中のチーム体制、学校を支えるバックアップ体制も必要だと思っており、具体的にどんな手法があるのか、実際に大阪市立大空小学校を見て検討したい。

防災、ICT教育、Society 5.0など



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①頻発する災害への備えとしての防災対策、Society5.0時代到来を受けたICT教育の環境整備など、令和2年度予算について積極的な予算編成を求む②財政誘導目標の提示方法を分かりやすくしては③ICT活用教育推進ビジョンを改定しては。

答 ①防災対策、子どもたちの未来、子育て対策に重点的に財源を確保し積極型の予算編成を目指す②県民の皆様にお分かり頂けるよう工夫して提示する③(教育長) 来年度の策定を目指し、スピード感をもって臨む。

一般質問

議会を傍聴しませんか

本会議、委員会などの会議はどなたでも傍聴できます。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

災害弱者への対応 栄養教諭へ任用替え他



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①災害弱者早め避難のため、防災リーダー養成や地域力充実に防災キャンプ等支援を②共生社会鳥取に向けパラアスリートを活用し、街中チェックを③子どもの食育環境充実と個別対応強化のため、学校栄養職員を栄養教諭に任用替えし、100%栄養教諭に。

答 ①基礎応用2つのリーダー養成を強化。地域に役立つ防災キャンプ等もしっかり応援する②今後議論する。モニターとしての活用は可能③(教育長)現場の意見をよく聞き将来のあり方を総合的に点検・検討する。

県民と共に創る とっとり創生と共生社会



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 県内企業の後継者不足は鮮明になっており、円滑な事業承継に向けて、県内金融機関との連携をさらに深化させるべき。

答 行政ではできない人材のマッチングについて、新年度に向けて金融機関とよく協議する。

問 障がい者スポーツの拠点施設整備に併せて、障がいのある方がその特性に合ったスポーツを楽しめるような指導人材の育成・確保が必要ではないか。

答 新年度に向けて更に強化できるよう、様々なプログラムを当初予算で検討する。

ヒトとモノの今後の 可能性について



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①境夢みなとターミナルと江島大橋を結ぶ幹線道路の調査状況と結果を問う②夢みなとタワーのエレベーターの無料化やストリートピアノの設置などをし、賑わいの拠点とすべき。

答 ①渡公民館前の交差点、大根島入口の交差点がクランク状になるため、渋滞が発生しやすくなっている。今年度、詳細設計して、令和4、5年で着工見込み②タワーの指定管理者の募集時にコンテストをしていく。ターミナル管理者ともエリアの賑わいについて協議していく。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

- 【自由民主党】
鳥取県議会自由民主党
- 【会派民主】
会派民主
- 【公明党】
公明党鳥取県議会議員団

議事録の全文は、
県議会ホームページから
ご覧になれます。



鳥取県議会



※掲載に時間がかかる場合があります。

特別天然記念物 オオサンショウウオの保護



福岡 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 会派民主

問 県内の河川に生息するオオサンショウウオを調査し、日本本来のもの、チュウゴクオオサンショウウオ、交雑個体の存在確認など、生息分布の実態把握をすべきである。そして、保護管理指針の策定が必要だ。

答 実態把握の調査は、市町村の協力も得ながら進めるということで検討する。ある程度、実態を把握した上で、交雑種対策、保護に向けた住民活動との連携などを含めた新しいタイプの鳥取型の管理方針を考えてみたい。

地下水調査会の信頼性 について



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 知事は中立公正な地下水調査会を強調し、白紙もあり得ると発言した。一方で環境管理事業センターが自治会と施設設置を前提とした振興計画を進めることは、この調査会が住民に信頼されないのではないか？

答 センターに予算執行停止をかける必要はないのではないかと。ただ、ストップをかけられないと見られてもいけない。趣旨はセンター側にも伝える。当初予算の段階で協議するが、皆様の同意を得た上でセンターの活動範囲を検討したい。

平成30年度決算の認定

決算審査特別委員会は、12月19日、「平成30年度鳥取県営企業決算の認定について」「平成30年度鳥取県営病院事業決算の認定について」「平成30年度決算の認定について」の3議案を認定すべきものと決定し、20日の本会議で認定された。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員会を通年設置とし「総務教育」「福祉生活」「農林水産商工」「地域づくり県土警察」「県営企業」「病院事業」の6分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決している。



決算関係の3議案は、9月定例会から審査を開始。分科会ごとに書類審査、集中審査、質疑、現地調査などを重ね、最後は委員全員で議論を行った。

その結果、文書指摘5件、口頭指摘10件を行ったうえで、認定が妥当と決した。

同委員会は2月定例会で、指摘事項を予算にどう反映したか、知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算編成を実現するよう努力したいとしている。



代表質問

一般質問

平成30年度決算認定

常任委員会活動

議決結果

文書指摘の概要

(1) 学校教職員の多忙解消と負担軽減の取組

教育環境の多様化、複雑化等に伴う学校教職員の多忙化や負担の解消を図るため、部活動指導員や教員業務アシスタントを各学校に配置しているが、着実な負担軽減や時間外業務縮減に結びついていない状況にある。部活動指導員や教員業務アシスタント等の取組が着実に教職員の負担軽減等につながるよう、実効性向上のための仕組みの導入や制度の見直しを主体的に行っていくべきである。

(2) 障がい者の離職防止・職場定着

障がい者の就業者数は、以前に比べて増加しているものの、同時に離職者数も増加している。障害者職業生活相談員を事業所内に配置している事業所では、障がい者の就労が定着していることから、同相談員の配置義務のない5人未満の事業所にも配置できるよう、また既配置の同相談員の育成・研修の充実についても検討するべきである。

(3) 新規就農者増加のための産地・経営体の育成支援

県農業生産1千億円達成プランでは、新規就農者の年間200人増を目標とし

ているが、平成30年度は達成されていない。既存事業では、農業分野の制限があるものもあるため、対象分野を広げたり、新規就農者が継続していけるよう、経営相談体制についても検討し、総合的に支援していくべきである。

(4) 児童虐待事案への対応 本県でも、警察や児童相談所における児童虐待の認知件数は増加しており、警察本部では関係機関との連携に取り組んできたところだが、更なる連携体制の強化を進めるとともに、児童虐待事案は、DVとの関連性を踏まえ、警察本部に総合的に担当する部署の創設を検討するべきである。

(5) 県立病院における医師の確保 県立病院の医師は年々増員されているが、まだ不足の状況にある。両県立病院が安定して医療を提供していくため、鳥取大学等との連携を強化しつつ、若手医師がやりがいの持てる魅力ある病院づくりを進める必要がある。地域の医療機関との役割分担・連携強化や働きやすい職場環境の整備に取り組むべきである。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）をはじめ4議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出を求めるものなど、新規の陳情2件について慎重に審議を行った結果、いずれも不採択と決定した。

10月29日に実施した県内調査では、鳥取県立米子養護学校において、障がい者雇用の取組を調査するとともに、鳥取県立境港総合技術高等学校において、「地域との連携による防災教育のあり方」をテーマに出前県議会を開催した。



福祉生活病院常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の補正予算など4件の議案と1件の陳情について、慎重に審議を行った結果、議案についてはいずれも原案どおり可決すべきものと決定し、陳情については、不採択と決定した。

また、8月末に行った第1回県外調査の結果を県施策の参考としてもらうよう、「精神障害者医療費助成拡大等に向けた取り組み」、「複合バイオマス資源の活用等」について提言を行い、執行部と活発な意見交換を行った。

そのほか11月21日には、米子市内において、「ひきこもり対策について」をテーマに出前県議会を開催し、関係団体と行政から取組状況を聞き、意見交換を実施した。



農林水産商工常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の「令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）」など4件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

10月31日には、本県で初めての高度衛生管理型市場として、令和元年6月から1号上屋及び陸送上屋の供用が開始されている境漁港で、より新鮮な水産物を届ける体制を調査した。

また、「境港の水産振興について」をテーマに出前県議会を開催し、「さかいみなど漁港・市場活性化協議会」として活動している各団体等から取組状況を聞き取るとともに、課題や今後の方針などについて意見交換を行った。



地域づくり県土警察常任委員会

11月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）など6議案について慎重に審議を行った結果、妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、11月18日には「転換期を迎えた今後のインバウンド誘客戦略について」をテーマに米子市内で出前県議会を開催し、海外誘客の多角化など今後の方向性や受入体制などについて関係団体と意見交換を行った。さらに、同日及び翌19日には境港の港湾整備状況、琴浦大山警察署における災害時等の警察機能維持対策、地域公共交通・路線バス再編計画に係る成果と課題についてそれぞれ現地視察し、関係者と意見交換を行った。



自由民主党											会派民主						公明党			無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果					
浜田一哉	中島規夫	内田隆嗣	内田博長	斉木正一	浜崎晋一	西川憲雄	広谷直樹	野坂道明	島谷龍司	川部洋	福田俊史	藤縄喜和	西村弥子	坂野経三郎	森雅幹	尾崎薫	浜田妙子	興治英夫	伊藤保	福岡裕隆	濱辺義孝	澤紀男	銀杏泰利					福洪隆宏	市谷知子	山川智帆	由田隆	
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	決定
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑩	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑪	当せん金付証票の発売について	可決
⑬	鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例	可決
⑭	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑮	鳥取県行政組織条例の一部を改正する条例	可決
⑯	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
⑰	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意

令和元年11月定例会付議案等議決結果 (賛否が分かれた議案及び否決された議案)

議案等番号	件名	自由民主党						
		松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範
9月定例会⑬	平成30年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会⑭	平成30年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
⑫	平成30年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
⑦	鳥取県手数料徴収条例及び鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑨	工事請負契約(国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(小鴨2号橋)(補助改良))の締結について	○	○	○	○	○	○	○
附帯意見	(議案第13号関係)	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情元年-19	桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情元年-20	公共放送の運営に係るコンプライアンスの徹底及び消費者保護体制の強化を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情元年-21	鳥取県が保有する公用携帯電話等の実態把握等について	不採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和元年11月定例会付議案等議決結果 (全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
	決算認定に係る指摘事項 [9月定例会第13号及び第14号並びに11月定例会第12号]	決定
①	令和元年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)	可決
②	令和元年度鳥取県県境港水産施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決
③	令和元年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
④	令和元年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第1号)	可決
⑤	令和元年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第3号)	可決
⑥	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑧	工事請負契約(境漁港高度衛生管理型市場整備事業2号上屋新築工事(2工区建築))の締結について	可決

国際交流・海外調査

台湾訪問団

10月23日から26日まで、伊藤議員を団長に6名の議員を台湾へ派遣し、インバウンド観光の振興に向けた動向と課題、本県との地域間交流の現状や今後の可能性、県産農産物等の輸出拡大・販路開拓に向けた現地の状況や課題について調査を行った。

日本台湾交流協会台北事務所、台湾日本関係協会、中華航空では、訪日観光客の動向や定期便化に向けた課題等、台中市では后豊サイクリングロードを視察しサイクリングを通じた両県市の観光交流の促進について調査した。また現地で日本産食品を扱う卸商社やスーパー、外食産業を訪問し、県産品や鳥取和牛等のさらなる販路拡大について意見交換を行った。台湾とのさらなる交流促進に向け、今回の調査結果を今後の政策提言に生かしていきたい。

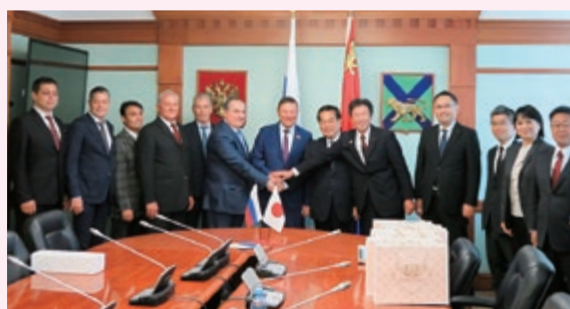


ロシア沿海地方訪問団

11月4日から8日まで、6名の議員が、豆満江を経由する物流ルート状況調査のため、ロシア沿海地方を訪問した。

ルートの拠点に考えていたザルビノ港活用の見込みやDBSクルーズ船の活用方法について、沿海地方議会、総領事館、極東港湾研究所を訪問し情報収集を行った。また、ビジネスサポートセンターや広告代理店RUSAPAIからは、インバウンドに向けた取組について、様々なアドバイスをいただいた。さらに、太平洋医科大学では鳥取大学に研修で来県した学生たちと面談し、研修の成果を確認することができた。

帰国直後、DBSクルーズ船が中断することとなった。残念ではあるが、多くの関係者からの期待の声を聞いたので、再開に向けてしっかりと連携して取り組んでいきたい。



2月定例会の日程案

期 日	日 程
2月21日(金)	本会議(開会・提案理由説明)
25日(火)	常任委員会
26日(水)	
28日(金)	本会議(代表質問)
3月3日(火)	本会議(先議議案に対する質疑)・常任委員会
5日(木)	
6日(金)	本会議(先議議案採決、一般質問・質疑)
9日(月)	本会議(一般質問・質疑)
11日(水)	
12日(木)	
16日(月)	常任委員会
17日(火)	
19日(木)	特別委員会
23日(月)	本会議(採決・閉会)
24日(火)	

※午前10時開会の予定です。 ※日程は変更の可能性があります。

スマートフォンからもご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会の生中継と録画中継のインターネット放送はスマートフォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。



あ と が き

初めての県議1年目、「とっとり県議会だより」編集3回目を経験しました。時には喧々諤々の議論をしながら、『県政情報を分かりやすく』をモットーに、県民の皆さまへお伝えしたいと鋭意努力しております。公正・公平な情報公開のためにも、引き続き、皆さまの忌憚のないご意見を頂けたら幸いです。(広報委員会N)